

企業誘致

～民間企業と共にまちを育む

News Letter

Vol.41

指定企業紹介特集 いま市内には南部地域を中心に10社の指定企業が立地しています。本号では指定企業第10号の指定を受けた『アクゾノーベルコーティング株式会社』の事業内容や地域活動などをレポートします。

あなたの街の板金塗装工場さんもきっと使っている塗料のメーカーです



アクゾノーベルコーティング株式会社

オランダの国際的大企業の日本法人

会社の歴史と概要

◆オランダから始まる

自動車が発明されるよりも約百年ほど前に、オランダのフローニンゲン州というところで、シッケンズ氏が創業したのが、「アクゾノーベルコーティング株式会社」の始まりです。

sikkens

LESONAL

様々な時代の変化に対応しながら長い時を経て、平成30年（2018年）初めに化学品事業部を分社化し、コーティング事業に経営資源を集中する会社になりました。

◆社名の由来

社名の由来はとても複雑で、第2次世界大戦の後、化学重工業の復興と共に塗料業界も吸収・合併が続き、一つになる前の両会社の頭文字からまずAKZOが誕生しました（昭和44年（1969年））。

更に平成6年（1994年）にはノーベル賞の名前で有名なスウェーデンにあったNobel Industries AB社と合併してAkzo Nobel N.V. に社名変更したのが現在の社名に繋がる由来です。

◆グローバルな大企業

現在、同社はオランダのアムステルダムに本社を置き、36,700名の従業員（平成29年（2017年）末時点）が80か国以上、220か所の拠点で世界中の顧客に塗料を介した様々なビジネスを展開しています。

日本では、現在5つ（自動車補修、航空、船舶・重防食、紛体と工業用）の事業部が3つの拠点と各地に営業技術サービスマンを配置して、それぞれの用途に応じた塗料製品を輸入（一部は国内調達）して販売しています。

全国各地から研修生が来訪し塗料の技術向上を図る

オートモティブトレーニングセンター

◆自動車補修塗料事業部の拠点



アクゾノーベルコーティング社は、平成25年（2013年）春に名古屋市から国立市泉（準工業用途地域）に移転しました。

事業所は自動車補修塗料事業部の国内中心となる拠点となっています。



◆アジアからも来訪する塗料研修施設



自動車補修の作業風景

国立市の事業拠点では、創業者の名前（シッケンズ・Sikkens）をブランド名の一つとした塗料や関連機器類の販売と、顧客となる板金塗装工場に技術サービスとして「調色～塗装仕上げまでの補修工程」がトレーニングできる施設、オートモティブトレーニングセンター（略してATC）を備えています。

ATCでは、日本のみならず、近隣アジア諸国からも顧客がトレーニングに訪問し、シッケンズ（sikkens）とレゾナル（LESONAL）という2つのブランドの塗料製品と周辺機器の使い方を習得しています。

現在はおおよそ10名の社員が、ATCの運営や製品の受発注や技術的なお問い合わせに対応するカスタマーサービスを行っています。

エンドユーザーの視点に立ったサービスの提供

座学と実習で品質向上

◆環境にやさしいものづくり

アクゾノーベルコーティング社は、塗料業界においてはかなり早くから環境にやさしい製品開発とものづくりを進めている会社です。国立市のATCでは特に塗料をどう取り扱えば品質良くトータルコストも抑える自動車補修作業が行えるかを全国各地のボデーショップの塗装業者や業界関係者の方達が座学と実習を通じて学んでいます。



研修室で塗料の配合について学ぶ様子

◆現場第一主義

アクゾノーベルコーティング社の特徴は、エンドユーザーの視点に立ったサービスの提供です。営業や技術サービスのメンバーが毎日塗装する現場を訪問して、各地の販売店と対話しながら、その時代にあった塗料製品と塗装方法を紹介することに大きな重点を置いているのが、国内大手や海外の競合塗料メーカーと異なる点です。



塗装技術トレーニング風景

くにたちは第二のふるさと

森茂雄所長の声

◆単身赴任で頑張る森所長

平成29年（2017年）12月に愛知県から単身で赴任され、就任より1年が経った森茂雄所長（統括セールスマネージャー）の声をお届けします。

「当社は外資系ではありますが、エンドユーザー様の大半が日本人なので多くの業務は日本語でお客様とコミュニケーションが図られます。その一方で、製品や技術が海外から、もたらされるために英語を駆使して、社内ではITツールを使った情報交換をする必要があり、その文化のギャップをどう埋めるかが、所長として就任して過ごしたこの1年間に感じる大きな課題です。

そんな多忙で沈んだ気分有的时候、会社最寄り駅の矢川駅（JR南武線）から多摩川河川敷方向へ10分以上歩いてのどかな街の雰囲気を楽しめる通勤の際や、ATCの2階の窓から晴れた日には富士山が綺麗に見える環境にいて、また課題に立ち向かう力が湧いてきます。

そんなこの街が、内外のお客様や海外より出張で来訪する同僚からも、『都内であるのに緑もあっていいね（空港からはちょっと遠いけど）！』という声を聴いて、だんだんと新しい故郷になって来るのを感じます。」



近くが多摩川河川敷



ダイヤモンド富士を望む

アクゾノーベルコーティング株式会社について



くにたちとの関わり

- 自動車補修塗料の市場は日本では関東圏、特に首都圏に板金工場が多数存在しており、大きな市場規模があります。同社は以前、名古屋市に技術研修センターを置いていましたが、研究開発・研修には、より多くの顧客が存在する首都圏がふさわしく、また、研究開発拠点・作業設備設置の観点から、郊外の準工業地域で候補地を探していました。
- 平成24年（2012年）に御縁があり、国立市泉に適切な用地が見つかったことから、日本国内各地（事業本部：大阪府吹田市、研修センター：名古屋市、東京営業所：三鷹市）に点在している事業施設を国立市に集約しました。
- 平成25年（2013年）5月2日に国立市指定企業第10号として誘致企業の指定を受けています。



会社概要

- 社名 アクゾノーベルコーティング株式会社
- 設立 昭和43年（1968年）9月
- 資本金 8億円
- 代表者 Chen Bin
- 社員数 70名
- 事業内容 塗料製造販売
- 所在地
＜本社＞
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-28
九段ファーストビル7階
＜自動車補修塗料事業部＞
〒186-0012 国立市泉4-8-7